

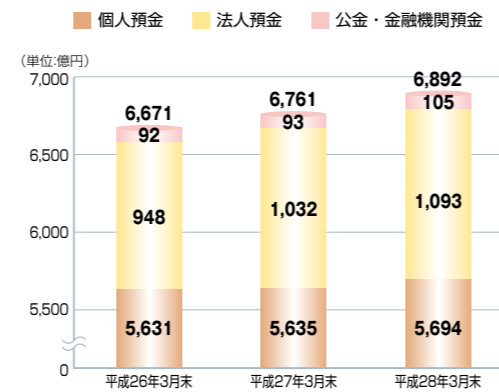


預金積金の状況

預金積金残高

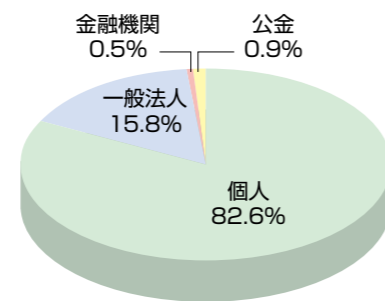
6,892億円

預金積金は、給与・年金振込の推進、「創立90周年記念定期預金」の販売など、積極的な営業活動に取り組んだ結果、期末残高は前期比1.9%増加の6,892億円となり、6期連続で増加しました。



預金者別預金残高構成比

地域のお客様の信頼・信用のバロメーターである個人預金の総預金に占める割合は82.6%となっています。地域金融機関として、地域の個人のお客様を中心とした預金業務を行っています。

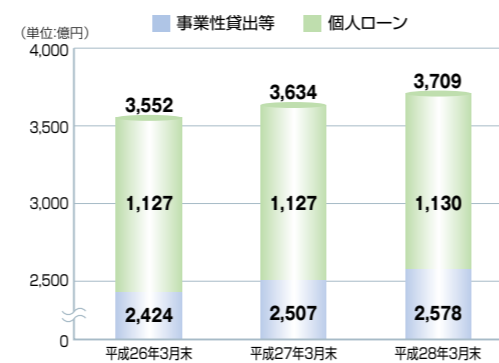


貸出金の状況

貸出金残高

3,709億円

貸出金は、中小企業向け融資や個人向けの消費資金が増加し、期末残高は前期比2.0%増加の3,709億円となり、3期連続で増加しました。



事業性貸出先数

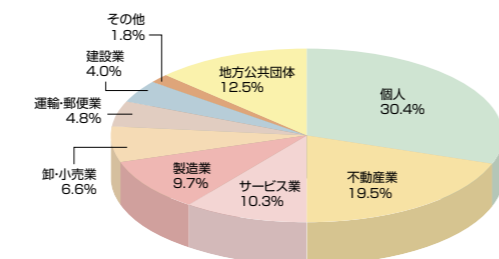
4,148先

事業性の貸出先数は、ビジネス情報のご提供や補助金の申請支援など、経営上の問題解決に繋がる提案活動に取り組んだ結果、年間151先増加しました。



貸出金業種別残高構成比

地域のお客様からお預りした大切な預金積金は、中小企業をはじめとする地域のお客様の資金ニーズに円滑にお応えするため、さまざまな業種のお客様に幅広くご利用いただいています。

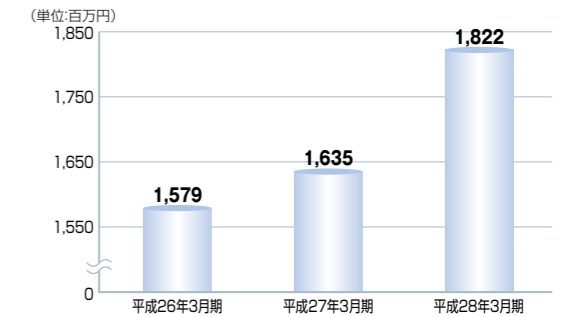


損益の状況

業務純益

18億円

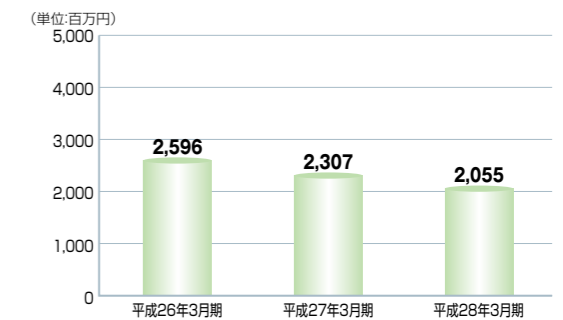
本業の利益である業務純益は、前期比11.4%増加の18億22百万円と、2期連続で増加しました。



当期純利益

20億円

当期純利益は、前期比10.8%減少の20億55百万円となりました。資金運用収益が減少する中、3期連続で20億円以上となりました。



自己資本の状況

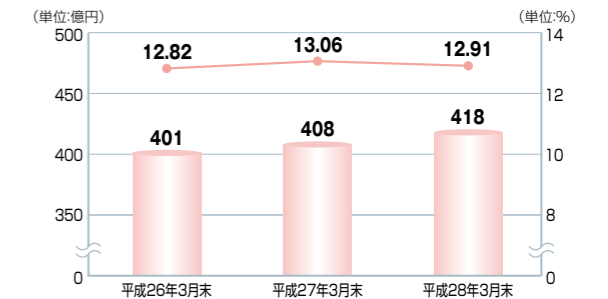
自己資本比率

12.91%

自己資本額

418億円

自己資本比率は、自己資本額（分子）が前期比2.3%増加した一方、中小企業向け貸出金残高の増加等によりリスク・アセット等（分母）が3.5%増加したため、前期比△0.15ポイントの12.91%となりました。この比率は国内基準の4%を大きく上回っており、当金庫の健全性は十分に確保されています。



不良債権の状況（金融再生法ベース）

不良債権比率

4.39%

不良債権額

163億円

不良債権比率は、広島県中小企業再生支援協議会など外部専門機関と連携した事業再生支援等への対応や、お取引先の経営改善支援等への取組みに努めた結果、不良債権額が前期比28億円減少したことから、前期比△0.86ポイントの4.39%となりました。

